○火薬類取締法の適用を受けない火工品を指定する告示(平成二十四年経済産業省告示第十四号) 火薬類取締法の適用を受けない火工品を指定する告示の一部を改正する告示案 新旧対照条文(傍線部分は改正部分)

| 三十四~(略) | 三十四~(略) |
|---------------------------------|------------------------------------|
| ホ 内部の火薬が容易に取り出せない構造であること。 | ホ 内部の火薬が容易に取り出せない構造であること。 |
| یل | と。 |
| ニ 圧力容器封板開放装置の外殼は、防錆性を有する材質であるこ | ニ 圧力容器封板開放装置の外殼は、防錆性を有する材質であるこ |
| المراري | ال ال |
| ハ 火薬を再度充塡することができず、再使用できない構造である | ハ 火薬を再度充塡することができず、再使用できない構造である |
| 開放する構造であること。 | 開放する構造であること。 |
| ロ 圧力容器封板開放装置は、電気点火により、圧力容器の封板を | ロ 圧力容器封板開放装置は、電気点火により、圧力容器の封板を |
| 八八グラム以下であること。 | 二グラム以下であること。 |
| 場合には、圧力容器封板開放装置内の火薬の量がそれぞれ〇・一 | 場合には、圧力容器封板開放装置内の火薬の量がそれぞれ〇・三 |
| 圧力容器封板開放装置を有する自動二輪車用着衣型エアバッグの | 圧力容器封板開放装置を有する自動二輪車用着衣型エアバッグの |
| 同じ。)の量が〇・一八八グラム以下であること。ただし、二の | 同じ。)の量が○・一八八グラム以下であること。ただし、二の |
| イ 火薬(過塩素酸塩を主とする火薬に限る。以下このイにおいて | イ 火薬(過塩素酸塩を主とする火薬に限る。以下このイにおいて |
| る 。)であって、次の要件を満たすもの | 。)であって、次の要件を満たすもの |
| 三十三 自動二輪車用着衣型エアバッグ (圧力容器付きのものに限 | 三十三 自動二輪車用着衣型エアバッグ (圧力容器付きのものに限る |
| 一~三十二 (略) | 一~三十二 (略) |
| 現 | 改正案 |
| | |